

## グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 年次シンポジウム 2023 ウェルビーイングがもたらす組織内変化と成長戦略

2023年11月15日(水)、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ : Global Compact Network Japan)は、ワテラスコモンホール(東京都千代田区)にて、物質的な豊かさを超えた心の満足感を測る指標とされているウェルビーイングをテーマとし、年次シンポジウム『ウェルビーイングがもたらす組織内変化と成長戦略』を開催しました。

第一部では、株式会社今治、夢スポーツの岡田武史会長より、愛媛県今治市を拠点にした活動を中心に基調講演をいただきました。第二部のパネルディスカッションでは、ウェルビーイング経営を実践されている楽天グループ株式会社で Chief Well-Being Officer (CWO)を務める小林正忠常務執行役員が、そして企業評価を手掛けられるエminentグループ株式会社から小野塚恵美社長にご登壇いただき、岡田武史会長とともにそれぞれの立場から

社会、地球環境に与えるウェルビーイングの好循環について議論いただきました。



前列左から、株式会社今治、夢スポーツ 代表取締役会長 岡田武史氏、株式会社クラン 代表取締役会長 園田綾子氏、エminentグループ株式会社 代表取締役社長 CEO 小野塚恵美氏、楽天グループ 常務執行役員 チーフ・ウェルビーイング・オフィサー(CWO)小林正忠氏

### 第一部 基調講演



第一部の基調講演は、「真の豊かさに向けた今治からの挑戦」と題し、株式会社今治、夢スポーツの岡田武史会長にご登壇いただきました。

講演前半では、これまで岡田会長が様々な国の指導者との交流を通じて痛感した指導・教育方法における、日本とグローバルな世界との違いをご紹介いただきました。2014年のワールドカップ後、FCバルセロナの有名な指導者と会話した際に「スペインにはプレーモデルというサッカーの型があり、選手が16歳になるまでに身に付けさせる。その後自由にさせる」と聞き、衝撃を受けた岡田会長は、武道の「守破離」の考え方こそ実践すべき

であると考え、愛媛県今治市へ移住し FC今治代表取締役社長としてサッカークラブ経営に携わることになりました。そして、その経営の中で、主体的にプレーできる自立した選手と自律したチーム育成を目的としたサッカー指導の方法論を体系化した考えを「岡田メソッド」としてまとめられました。この「岡田メソッド」はまず「理念」があり、その「理念」を実現するための「型」である「原則」があります。この体系化された考え方は、岡田会長がサッカークラブ経営の中で困難に立ちはだかるたびに「次世代のため、

物の豊かさより心の豊かさを大切に社会創りに貢献する」という企業理念に沿って判断し、事業を進めてきた姿にも重なることが感じられるお話しでした。

講演の後半では、岡田会長が経営する FC 今治の事業推進を通じたシビックプライド (Civic Pride) の醸成についてご紹介いただきました。人間は、生きていく中で立ち塞がる困難や失敗から立ち上がり成長し、そして周りには誰かと助けあうことで絆が生まれ、幸せを感じることができ、その「幸せ」を提供できるのが文化やスポーツだとお話しされました。FC 今治の企業理念を実現するような、多様な人が集まり感情を共有できる共助のコミュニティ(ベーシック・インフラ)に今後取り組んでいきたいと語られ、地域社会やコミュニティの大切さを訴えかけられ、基調講演を締めくくられました。



## 第二部 パネルディスカッション



第二部は、株式会社クラン 代表取締役会長 園田綾子氏をモデレーターに迎え、日本企業の中でも早くからウェルビーイング経営を進める楽天グループ株式会社の Chief Well-Being Officer (CWO)を務める小林正忠常務執行役員、そしてエminentグループ株式会で「ESGの女神」と称されている小野塚恵美社長にご登壇いただき、岡田武史会長とともにそれぞれの立場から社会、地球環境に与えるウェルビーイングの好循環について議論いただきました。

小林役員からは「ウェルビーイングがもたらす組織内変化と成長戦略」と題し、楽天グループのウェルビーイングに係る取り組みや、その社内浸透についてご紹介いただきました。楽天グループでは「Well-being」は「Well-doing」に繋がるものであり、「よい状態(Well-being)」こそが「よいパフォーマンス(Well-doing)」を生むと考え、その「よい状態(Well-being)」を醸成するために行っている様々な取り組みや仕組みについて、ご説明いただきました。



小野塚社長からは、投資家(資金提供者)の立場からウェルビーイングに注目する背景やウェルビーイングを見る視点をご紹介いただきました。サステナブルファイナンスが重視される昨今、サステナビリティの戦略的推進は経営そのものであり、経営の担い手である従業員のエンゲージメント向上にウェルビーイングは不可欠であると述べられました。そして従業員エンゲージメントは企業業績にも大きく影響してくることから、企業価値向上にウェルビーイングが欠かせないとお話をいただきました。

岡田会長からは、前例・正解が無い今後の世の中では、個人一人ではすべてを対応できないことから、様々な人員から構成される組織・社会が一体となることが求められること、そのためには、一人一人のプレイヤー(社員)が、失敗する自分も含めて存在を認められる環境(居場所)を作り、トップから下位の人に一人一人の存在・違い(多様性)を認めもらう連鎖を繋いでいくことで、個人の自己肯定感を向上させ、ひいては組織の心理的安全性向上に繋がる、このことこそがウェルビーイングなのではないかとお話がありました。



当日は会場およびオンラインから多くの方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

以上